



大和小だより

令和6年度版

学校便り 第14号

令和7年2月6日

文責 校長

〇〇 〇〇

今の時期を表す表現として、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉があります。この言葉の通り、新年を迎えたのがつい最近のように感じますが、すでに1月は終わり、2月も1週間が過ぎようとしています。この分だとあっという間に3学期末がやってくるのではと、ちょっと焦ってしまいます。

時間の感覚は年齢が上がるにつれて短くなるということは、いくつかの研究で理論的に説明されているようなので、私の感覚よりも子どもたちの感覚はもう少し、ゆったりしているのかもしれませんが、3学期に入ってから、すでにスキー教室、児童会役員選挙、太鼓の引き継ぎ朝練が終わり、特に高学年生にとっては慌ただしい日々が続いてきました。今後も学習のまとめが本格化し、児童総会や6年生を送る会、卒業式などの大きな行事が続きます。

忙しさに翻弄され、ただやればよいという中身の薄い活動とならないように、忙しいときほど一度立ち止まって、目的や目標をしっかりと再確認し、落ち着いた行動をとってほしいと思います。これは子どもたちだけでなく、我々大人にも、いや大人の方こそ意識していきたいことであると思います。

6年生が晴れやかに卒業の日を迎えられるよう、また、すべての子どもたちが希望を持って新学年に進級できるよう、学年末まで地に足の着いた取組を行っていきたいと思います。

◇やる気を見せた児童会役員選挙

1月24日に来年度の児童会役員を決める児童会役員選挙が行われました。立候補者と責任者は、選挙当日を迎えるまで、教室を回って各自が掲げる公約をアピールしたり、登校時や休み時間に玄関に立って投票のお願いをしたりと、懸命に活動してきました。そして、選挙当日の立会演説会では、大きな緊張の中、精一杯の主張を行いました。

児童会長には、5年生の〇〇〇〇〇さんが立候補し、副会長には、5年生の〇〇〇〇〇さん、4年生の〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さんが立候補しました。立会演説会でのやる気にあふれた演説や態度を見ていたら、誰が当選してもきっと良い学校をつくってくれるであろうことを確信しました。選挙の結果は以下の通りとなりました。



令和7年度 児童会長・・・〇〇〇〇〇さん
副会長・・・〇〇〇〇〇さん

今回惜しくも当選できなかったみなさんも、来年度児童会の中心となって活躍してくれることと思います。勇気とやる気を持って立候補した5名の児童全員に称賛の拍手を送り、これからの益々の活躍に期待したいと思います。

◇卒業制作が完成しました

6年生が卒業制作で、「絵手紙作成」と「陶芸づくり」を行いました。卒業制作の時期になるともう卒業がすぐそこであることを実感します。

絵手紙は、「自分の夢」と「両親への感謝」の2枚をかき、陶芸は、「カップ」と「小物入れ」を作りました。講師の〇〇先生と〇〇先生は共にとてもパワフルな先生で、みんなでワイワイ楽しみながらも真剣に作品を作り上げることができたようです。どんな作品に仕上がったか楽しみです。良き思い出の一つとなることでしょう。



◇「がん」について学びました

本校は5・6年生を対象に「がん教育学習会」と「薬物乱用防止教室」を隔年で実施しています。本年度は、山梨県厚生連健康管理センターから講師をお迎えし、がん教育学習会を行いました。がんは「2人に1人がなる病気である」という所から始まり、予防と早期発見の大切さについて学び、これからの自分の生活について考えました。マスコットキャラクターも登場し、意識付けに一役買ってくれました。



大和小の良いところ

☆児童会の取組（ハピハピ集会）

本校の誇る所のひとつに、異学年の仲の良さがあります。休み時間には1年生から6年生まで一緒になって遊んでいる姿がよく見られます。そこでは下級生をいたわる意識や上級生としてのあるべき態度が自然と培われていきます。そして学年関係なく誰かが誰かに関わっているという側面が、本校が不登校「0」である1つの要因でもあると思っています。その基礎を作っているのが、異年齢による縦割り活動です。大きな行事から小さな集会まで多くの場面で縦割りを活用しています。

慌ただししい3学期ではありますが、1月30日の中休みにも、児童会主催の全校遊び（ハピハピ集会）が行われました。遊びのルールもみんなが楽しめるように一工夫されており、遊びの中では自然な形での上級生から下級生への気遣いや優しい言葉がけも見られました。とても寒い日でしたが、笑顔いっぱいの心が温まる光景を見ることができました。

